

Ⅲ 酸性雨モニタリング調査委託事業

1 目的

環境省の越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画に基づき、酸性沈着による生態系への影響を把握するため、外部負荷の影響を受けやすいと考えられる山岳地域の天然林における土壌・植生モニタリングを実施する。

2 材料と方法

2. 1 実施期間：平成25～29年度

2. 2 担当者：谷口公教

2. 3 場所：大山町庄司ヶ滝付近（大山隠岐国立公園内）

2. 4 方法

小・中・大の同心円プロットを設定した調査対象林分において、樹木衰退度調査を実施した。調査地の中心から東西南北に 12m 離れた地点に定点を設定し、定点周辺の上層木 15 本（新規に 5 個体追加）を選び、それぞれ樹勢、樹形、枝の成長量、梢端の枯損、落葉率を調べるとともに、葉について色、大きさ、変形の有無及び障害の有無を調査した。調査結果は委託のあった環境省に提出した。

3 結果

調査結果は表-1 のように、ハウチワカエデ、コシアブラ、ウワミズザクラ、コミネカエデに葉の障害等が認められた。

これは虫害や被圧による陰葉化と考えられ、酸性雨による影響では無いと判断された。

土壌・植生 E) 樹木衰退度調査表 (EANETサブマニュアルに対応した改訂様式)																	
調査地点名: 大山隠岐国立公園																	
調査実施日: 2015.7.29, 2015.9.14																	
調査実施者名: 鳥取県林業試験場 谷口公教																	
個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	7	8	9	12	13	14	15	16	17	18		
方位 (E, W, S, α N)	E	E	E	W	W	S	S	N	S	N	S	S	N	W	W		
樹種名 (和名)	ハウチワカエデ	コシアブラ	ブナ	キハダ	テツカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	アズキナシ	ウワミズザクラ	コミネカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ		
(学名) 記入しにくい場合は別表でも良い	<i>Acer lappaceum</i>	<i>Austroriparianus</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Pachlola dentata</i>	<i>Acer nipponicum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Sorbus alnifolia</i>	<i>Parus grayana</i>	<i>Acer sp.</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>		
相対的樹高		-	+			+		+				+		+			
樹高 (m)	9.5	7.7	25.1	21.7	162	246	14.0	14.6	13.8	16.7	133	290	19.4	25.3	16.7		
胸高直径 (cm)	262	21.1	840	31.8	219	53.8	381	46.5	28.3	30.5	25.8	61.2	49.0	82.6	54.8		
樹勢	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
樹形	1	1	0	1	1	1	1	0	1	2	2	0	0	0	0		
枝の生長量	2	2	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0		
梢端の枯損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
落葉率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
葉の変形度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
葉の大きさ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
葉色	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
葉の障害状況	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
ダメージクラス																	
樹木衰退の原因推定											備考						
No.1 一部虫による葉の食害あり。一部枯れ枝あり。											No.14~18 平成27年度に新規追加の個体						
No.2 傾斜木。一部枯れ枝あり。虫による葉の食害あり。																	
No.13 一部枯れ枝あり。																	
No.14 幹の一部が折損している。虫による葉の食害あり。																	